

2026年度版 製品審査 審査基準根拠

製品区分	大分類	中分類	小分類	重要度	申請区分
I群	水路工	矩形側溝	基本型(≦600×600mm)	1 or 2	製I-水側矩-1

審査項目及び審査基準				根拠 (RPCA審査基準が満足する道路土工等関係指針等)	
中項目	小項目		審査基準		
荷重	自重	埋戻し土	各基準に拠る。	JIS A 5372 国土交通省土木構造物標準設計(側溝・暗渠類) NEXCO用排水路構造物標準設計集 農林水産省土地改良事業標準設計(水路) 大臣官房・コンクリート二次製品構造規格(案) その他(各地方整備局および地方自治体基準)	
		鉄筋コンクリート			
		自重の考え方			
	土圧	主働土圧	土圧式		各基準に拠る。
	載荷重	直接載荷荷重			各基準に拠る。
側方載荷荷重					
衝撃係数					
荷重の組合せ ①常時の作用	供用時	死荷重+活荷重	各基準に拠る。		
材料及び設計諸定数	コンクリート	設計基準強度	各基準に拠る。		
	鉄筋の種類		各基準に拠る。		
許容応力度	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		各基準に拠る。		
	コンクリートの許容せん断応力度				
	鉄筋の許容応力度				
部材の安全性の照査	解析方法		各基準に拠る。		
	構造耐力	曲げ応力度 (縦断)	頂版	発生応力度が許容応力度以下であること。	
			側壁		
			底版		
		せん断応力度 (縦断)	頂版		
			側壁		
			底版		
		曲げ応力度 (横断)	頂版		
			側壁		
			底版		
せん断応力度 (横断)		頂版			
		側壁			
		底版			
曲げ応力度 (専用樹)	頂版				
	側壁				
	底版				
せん断応力度 (専用樹)	頂版				
	側壁				
	底版				
グレーチング		T-25荷重を考慮した計算書であること。	グレーチング製造メーカーの設計書		
耐久性	鉄筋のかぶりの最小値		各基準に拠る。		
その他の仕様	基礎材	使用材料	再生砕石(RC-40)を標準 「道路PCa工指針」第6編 水路工編 [18]	JIS A 5372 国土交通省土木構造物標準設計(側溝・暗渠類) NEXCO用排水路構造物標準設計集 農林水産省土地改良事業標準設計(水路) 大臣官房・コンクリート二次製品構造規格(案)	
		厚さ			
	躯体同士の接合	接合仕様	目地工の処理方法が規定されていること	『道路土工要綱H21』2-7-1 路面排水工の施工	
施工	施工マニュアル	施工の手順	施工マニュアル等に記述があること 「道路PCa工指針」第6編 水路工編 [18]~[19] 第6章 U形側溝 7.3 施工方法及施工上の留意点	『道路PCa工指針』	
		施工上の留意点			
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置		『JIS Q 1012』B.1 製品の管理	
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること 「道路PCa工指針」第6編 水路工編 [17] 第6章 U形側溝 7.2.1 受渡検査 「道路PCa工指針」第3編 製造編 [20]~[23] 第3章 検査		
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置		JIS A 1108 『JIS Q 1012』B.3 製造工程の管理	
	構造耐力	試験頻度・方法、載荷荷重、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること 載荷試験により構造耐力の確認が実施されていること 試験荷重 各種基準に準拠した試験値であること 設計計算に用いた断面力から算出した試験荷重値であること。 試験結果 各種基準に準拠した判定結果が合格であること 所定の荷重においてひび割れ幅が0.2mm以下であること	『JIS Q 1012』B.1 製品の管理	
材料の品質	品質	使用する材料の品質			
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 「道路PCa工指針」第3編 製造編 [5]~[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵	『JIS Q 1012』B.2 原材料の管理	
	貯蔵	貯蔵の管理方法			